

自転車の安全利用と条例化に関する意識調査

福岡大学工学部社会デザイン工学科 辰巳 浩, 堤 香代子, 原 孝介

1. 研究背景と目的

近年、自転車のスピードの出すぎやブレーキのない違法な自転車を使用する人が増え、自転車対歩行者の事故が増えている。これは、自転車利用者の意識が低いためであり、自転車利用者の意識を向上させることが必要である。

そこで本研究は、自転車利用者を対象にアンケート調査を実施し、自転車の安全利用の実態とその意識を把握するとともに、条例化に関する意識を把握することを目的とする。



自転車安全利用五則とは・・・

2007年7月10日に警察庁交通安全対策本部が定めた。

- I. 自転車は車道が原則、歩道は例外**
→右下の標識がある歩道では例外的に歩道の通行が認められているが、歩道にこの標識がない場合は車道を通行しなければならない(児童・幼児などは除外)。
- II. 車道は左側を通行**
→自転車は車道の左側を通行しなければならない。つまり、反対車線側を通行してはいけない。
- III. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行**
→右下の標識がある歩道を通行する場合、すぐに停止できる速度で徐行しなければならない。歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければならない。
- IV. 安全ルールを守る**
■飲酒運転は禁止 ■二人乗りは禁止(6歳未満の子供を幼児用座席に乗せるなどの場合以外) ■並走は禁止(並走可の標識があるところ以外) ■夜間はライトを点灯 ■信号を守る ■交差点での一時停止と安全確認
- V. 子どもはヘルメットを着用**
→児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない。

2. 調査概要

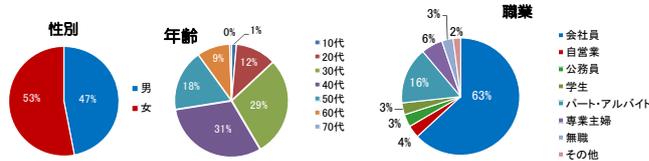
配布日時	2011年10月20日(木) 7~17時
配布・回収方法	調査員による配布、郵送回収
配布場所	天神、博多、西新、別府の地下鉄駅周辺に立地する駐輪場
配布部数	天神525部、博多525部、西新325部、別府51部の合計1,426部
個人属性	性別、年齢、職業
自転車利用	利用目的(複数回答)、利用頻度
利用上の感想	マナー、対自動車、対歩行者
調査項目	安全利用五則 認知、遵守、規則の賛否、条例化の賛否

回収部数と回収率

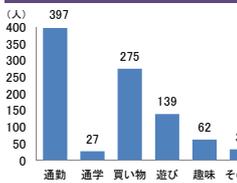
天神	博多	西新	別府	合計	回収率
216	262	83	26	587	41.2%

3. 分析

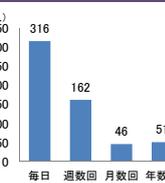
個人属性



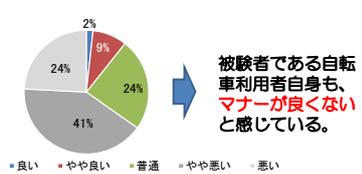
自転車の利用目的(複数可)



自転車の利用頻度



周囲の自転車の状況について



被験者である自転車利用者自身も、マナーが良くないと感じている。

自転車の利用頻度別の安全性に関する意識

利用頻度	対自動車 (N=582)			対歩行者 (N=583)		
	危険	どちらかといえば危険	普通	危険	どちらかといえば危険	普通
毎日	41.7%	42.4%	13.4%	36.3%	47.5%	14.8%
週数回	38.1%	48.8%	10.6%	36.0%	50.9%	10.9%
月数回	41.3%	52.2%	6.5%	40.0%	53.3%	6.7%
年数回	60.0%	34.0%	6.0%	60.8%	37.3%	2.0%

全体的に危険の割合が高い。また、対自動車、対歩行者のいずれも自転車の利用頻度が低くなるほど危険と感じる傾向にある。

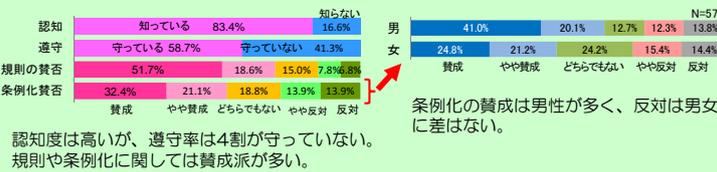
I. 自転車は車道が原則、歩道は例外



認知度は高いが、遵守率は7割が守っていない。規則の賛否は拮抗しており、条例化に関しては反対が多い。

条例化には10代、20代が「反対」「やや反対」が多く、男性より女性が反対派が多い。

II. 車道は左側を通行



認知度は高いが、遵守率は4割が守っていない。規則や条例化に関しては賛成派が多い。

条例化の賛成は男性が多く、反対は男女に差はない。

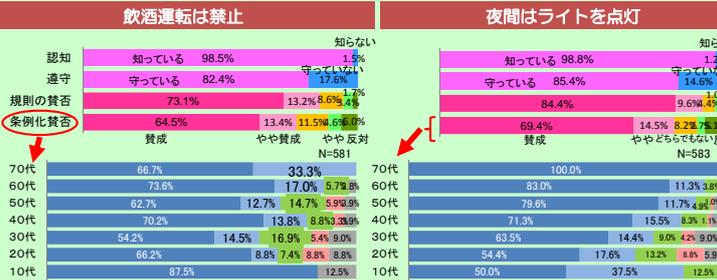
III. 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行



認知度は6割程度と低く、遵守率は5割強である。規則、条例化については賛成派が多い。

条例化には、年齢層が高くなるほど賛成の傾向にある。

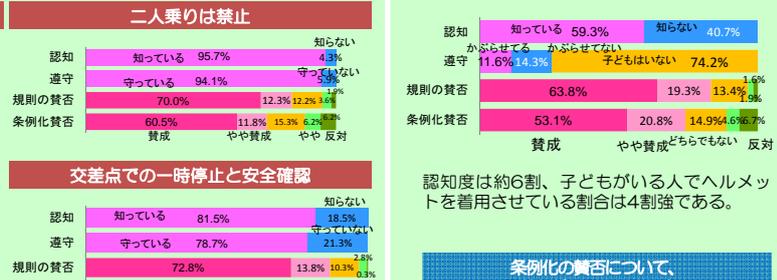
IV. 安全ルールを守る



全体的に賛成が多く、中でも10代が一番賛成が多い。外で飲酒をする機会が多いと思われる20~50代では多少反対意見がある。

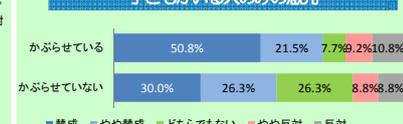
全体的に年齢層が高くなるほど賛成が多い。反対は若干名のため条例化することが可能である。

V. 子どもはヘルメットを着用



認知度は約6割、子どもがいる人でヘルメットを着用させている割合は4割強である。

条例化の賛否について、子どもがいる人への意見



かぶらせている場合は賛成が7割、かぶらせていない場合は賛成が6割弱で、かぶらせていない場合はあまりこの条例化に関心がない。

4. まとめ

本研究は、アンケート調査を実施し、福岡市において自転車安全利用に関するルールの条例化を検討することが目的である。

「安全ルールを守る」「子どもはヘルメットを着用」に関しては賛成意見が多かった。

「自転車は車道が原則、歩道は例外」「歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行」といった条例に関しては、守っていない人が多く、罰則付きとなると反対意見が多い。

自転車問題については、駐輪場の整備や放置自転車の撤去など違法駐輪対策のみならず、自転車の安全利用の徹底が必要である。

条例化することが可能

条例化の前に自転車走行空間の整備が必要